

平成23年8月9日

各 位

会 社 名 SBSホールディングス株式会社 代表者名 代表取締役社長 鎌田 正彦 (コード番号:2384) 問い合せ先 経理部長 掛橋 幸喜

電 話 番 号 03-3829-2222(代表)

平成23年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年2月15日に公表した平成23年12月期第2四半期連結累計期間(平成23年1月1日~ 平成23年6月30日)の業績予想値と本日公表の同期間の実績値について下記のとおり差異が生じま したのでお知らせいたします。

また、第2四半期までの業績等を踏まえ、平成23年2月15日に公表した平成23年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値の差異(平成23年1月1日~平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	58,000	1,300	1,000	300	2,450円18銭
今回実績値(B)	58,022	519	294	△ 476	△3,883円41銭
増 減 額(B-A)	22	△ 781	△706	△776	_
増 減 率 (%)	0.0	△60.1	△70.6	_	_
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	55, 918	1,677	2, 161	1,367	11,163 円 23 銭

## (差異の理由)

当社グループの物流事業は、繁忙期を迎える3月に発生した東日本大震災の影響を受け大幅な物流需要の減少に見舞われました。売上高については、3PL業務の拡大やM&A効果によって予想通りに着地したものの、営業利益および経常利益は、直接的に被災した地域での営業の停止に加えて当社グループのメインエリアである首都圏においても物流事業のみならず当社事業全般に亘って稼働率悪化が続いたことにより大幅に予想を下回りました。また、燃料不足や燃料価格の上昇、お客様の物流費削減の動きや同業者間の競争激化によって価格値下げ圧力が一段と強まったことなども差異拡大の一因となりました。四半期純利益は、東日本大震災による施設や車両などの災害による損失1億85百万円を特別損失に計上したこと、当初計画で特別利益に織り込んでいた不動産売却が延期となったことなどにより差異が生じたものです。

## 2. 平成23年12月期通期連結業績予想値の修正(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

(単位:百万円)

					(単位・日カロ)
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	120,000	3,500	3,000	1,700	13,884円35銭
今回修正予想(B)	120,000	2,700	2,200	1,300	10,617円45銭
増 減 額 (B-A)	0	△800	△800	△ 400	_
増 減 率 (%)	_	△22.9	△26.7	$\triangle$ 23.5	_
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	119,824	4, 262	4, 291	2, 140	17,514円70銭

## (修正の理由)

大震災の発生後急激に悪化したわが国経済は、サプライチェーンの回復に伴う生産活動や販売活動の正常化が進み、5月以降には持ち直しの兆しがみえてまいりました。

当社グループにおいても第2四半期会計期間の半ばから需要の回復が進んでおり正常に戻りつつあります。期末に向けての業績は、依然として電力不足や原油高騰、円高などの懸念事項は残っておりますが、ほぼ当初計画どおりに進捗するものと見込んでおります。

このような状況を踏まえ、平成 23 年 2 月 15 日に公表した平成 23 年 12 月期通期連結業績予想を次のように修正いたします。

売上高については、3 P L 事業の拡大、M&A 効果などが見込まれることから当初計画を修正いたしません。営業利益、経常利益および当期純利益は、大震災などの影響により第2 四半期連結累計期間に生じた当初予想値との差異相当分を下方修正いたします。なお、当期純利益には、保有する不動産の売却による特別利益を織り込んでおります。

## <業績予想に関する注意事項>

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によってこれら予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上